

令和元年度 第1回青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会 議事録

1. 会議名	第1回青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会
2. 日時	令和元年6月11日(火) 10時～12時00分
3. 場所	北栄町中央公民館大栄分館 会議室2
4. 参加者	検討委員11人、アドバイザー1人、事務局7人
5. 内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶・・・北栄町長 松本 昭夫 挨拶。</p> <p>3. 経過及び現状説明・・・事務局より説明。(資料P.2～P4)</p> <p>《委員意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館人数の節目を狙ってイベントを行うということは大事。 ・リニューアルする上で、経済分析や来られた方がどういう思考を持って訪れているかなど、きちんと情報分析をして把握しておいた方が良い。アンケートや聞き取り、他のミュージアムを見て考えることが必要。 ・ふるさと館の予算を確認したい。また、職員に学芸員がいるのか。 ⇒[事務局回答]：予算については、次回お示します。学芸員は、現在おりません。 ・今後リニューアルやあり方を検討するにあたり、どれくらいの規模で拡大されるイメージを持っているのか。また、館だけでなく周辺も巻き込んだようなまちづくりの視点で考えた意見で良いか。 ⇒[事務局回答]：特に事務局で規模感等を決めているものでもない。また、町づくりでの視点での意見があっても問題ないと考えているので様々な意見をいただきたい。 ・利益を上げるのは大変であることは良くわかっているが、折角ここまで多くの人を訪れるのであれば、町のお金を使う必要がないような仕組みを考えていくことも必要。 <p>4. 議事</p> <p>(1) 役員選出について・・・事務局による提案が承認されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長(1名)：蓑 豊委員 ・副会長(1名)：山柘 敬一委員 <p>(2) 今後の進め方について・・・事務局より説明。(資料P.5～P6)</p> <p>《委員意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントをどういった方法で行うかは、どういった目的で行うかによるため、どのようなコンセプトで行うか議論を詰めていかななくてはならないと思われる。 ・この委員会は、準備委員会という理解でいいのではないか。準備委員会ですでた意見を集約し、中期的な計画のもとに今後新たに委員会を行うのか、中期的な計画を立てるために委員会を行うのかははっきりすると議論しやすくなるのではないか。 ・この委員会では、夢を語り、時間を費やして、実際に実現していくことができればと考える。夢を実現するためにソフト・ハード面から提案していきたい。 ・バリアフリーの件を含め、目の前の課題については、この委員会からは切り離して考えるべき。現状の課題をきちんと改善することは町としての義務だと思われる。そうしたことは、集中的に議論していけば良い。 ・外国人がこのふるさと館をどのようにしてほしいかなど、英語でのアンケート調査を行ってほしい。 ・中、長期的に考えていくのであれば、原画がポイントとなる。マンガを美術品としてどう扱っていくか、町だけでなく、今のマンガ界全体が抱えている課題。「名探偵コ

ナン」というコンテンツを10～20年ではなく50～100年の視野でどうしていくのかを考えながら、ふるさと館を美術館としてつくるという流れでいくのか、エンターテインメント性を高めていくのか議論することが、コンセプトの話につながっていくと思われる。

- ・青山先生の作品の保存については真剣に考える必要がある。世界の目がこの町に向くことにも繋がる。
- ・3年後、10年後というよりは、今回見えたGWの課題が1年後どう変わっているかという部分が大きい。今ある現状の課題改善の部分に焦点をあてていただきたい。

5. その他

- ・第4回の日程の決定・・・11月29日（火）13：30～

6. 閉会・・・北栄副町長 手嶋 俊樹 挨拶。

◎第2回検討委員会開催日

7月9日（火） 13：30～ 北栄町環境改善センター 2階 青年研修室